

議第3号

下諏訪都市計画道路の変更について

平成27年6月4日提出
長野県都市計画審議会長

27都第90号
平成27年5月21日

長野県都市計画審議会長 様

長野県知事

下諏訪都市計画道路の変更について

このことについて、都市計画法第21条第2項の規定において準用する同法第18条第1項の規定により、次のように審議会に付議します。

下諏訪都市計画道路の変更（長野県決定）

都市計画道路中 3・4・7 号高浜線ほか 3 路線を次のように変更する。

| 種別 | 名称 | | 位置 | | | 区域 | 構造 | | | | 備考 |
|----------|--------|------------|--------------|--------------|--------------|-------------|----------|----------|-----------------|--------------------------------------|----|
| | 番号 | 路線名 | 起 点 | 終 点 | 主 な 経過地 | 延 長 | 構造 形式 | 車線 の数 | 幅員 | 地表式の区間における 鉄道等との交差の構造 | |
| 幹線 街路 | 3・4・7 | 高浜線 | 下諏訪町 字鮎沢先 | 下諏訪町 字湖水端 | 下諏訪町 字湖水端 | 約 50m | 地表式 | 2 | 18m | 幹線街路と平面交差 2 個所 | |
| | 3・4・8 | 田中線 | 下諏訪町 字湖水端 | 下諏訪町 字西赤砂 | 下諏訪町 字湖浜 | 約 2,080m | 地表式 | 4 | 16m ～ 20m | 幹線街路と平面交差 5 個所 | |
| | 内訳 | | 下諏訪町 字湖水端 | 下諏訪町 字湖浜 | 下諏訪町 字湖浜 | 約 430m | 地表式 | 2 | 16m | 幹線街路と平面交差 2 個所 | |
| | | | 下諏訪町 字湖浜 | 下諏訪町 字西赤砂 | 下諏訪町 字湖浜 | 約 1,650m | 地表式 | 4 | 20m | 幹線街路と平面交差 4 個所 | |
| | 3・5・10 | 鷹野町 春宮線 | 下諏訪町 字東赤砂 | 下諏訪町 字下馬脇 | 下諏訪町 字郷林 | 約 1,920m | 地表式 | 2 | 12m | J R 中央東線と立体交 差、幹線街路と平面交 差 5 個所 | |
| | 3・3・11 | 湖岸通線 | 下諏訪町 字赤砂崎 | 下諏訪町 字湖水端 | 下諏訪町 字湖浜 | 約 3,480m | 地表式 | 2 | 22m | 幹線街路と平面交差 5 個所 | |

「区域及び構造は計画図表示のとおり」

理 由

下諏訪都市計画における都市計画道路網の見直しを行った結果、1 路線の終点の変更を行うものである。

併せて都市計画法施行令の一部を改正する政令（平成10年政令第331号）及び都市計画法施行規則の一部を改正する省令（平成10年建設省第37号）に基づき、車線数を決定する。

新旧対照表

(旧)

| 種別 | 名称 | | 位 置 | | | 区域 | 構造 | | | | 備考 |
|----|--------|------------|--------------|-----------------------|--------------|-------------|----------|----------|-----------------|--------------------------------------|----|
| | 番号 | 路線名 | 起 点 | 終 点 | 主 な 経過地 | 延 長 | 構造 形式 | 車線 の数 | 幅員 | 地表式の区間における 鉄道等との交差の構造 | |
| 種別 | 3・4・7 | 高浜線 | 下諏訪町 字鮎沢先 | 下諏訪町 字湖水端 | 下諏訪町 字湖水端 | 約 50m | 地表式 | — | 18m | 幹線街路と平面交差 2 個所 | |
| | 3・4・8 | 田中線 | 下諏訪町 字湖水端 | 下諏訪町 字西赤砂 | 下諏訪町 字湖浜 | 約 2,080m | 地表式 | — | 16m ～ 20m | 幹線街路と平面交差 5 個所 | |
| | 内訳 | | 下諏訪町 字湖水端 | 下諏訪町 字湖浜 | 下諏訪町 字湖浜 | 約 430m | 地表式 | — | 16m | 幹線街路と平面交差 2 個所 | |
| | | | 下諏訪町 字湖浜 | 下諏訪町 字西赤砂 | 下諏訪町 字湖浜 | 約 1,650m | 地表式 | — | 20m | 幹線街路と平面交差 4 個所 | |
| | 3・5・10 | 鷹野町 春宮線 | 下諏訪町 字東赤砂 | 下諏訪町 社 字 西 久 保田 | 下諏訪町 字郷林 | 約 2,400m | 地表式 | — | 12m | J R 中央東線と立体交 差、幹線街路と平面交 差 8 個所 | |
| | 3・3・11 | 湖岸通線 | 下諏訪町 字赤砂崎 | 下諏訪町 字湖水端 | 下諏訪町 字湖浜 | 約 3,480m | 地表式 | — | 22m | 幹線街路と平面交差 5 個所 | |

(新)

| 種別 | 名称 | | 位 置 | | | 区域 | 構造 | | | | 備考 |
|----|--------|------------|--------------|--------------|--------------|-------------|----------|----------|-----------------|--------------------------------------|--|
| | 番号 | 路線名 | 起 点 | 終 点 | 主 な 経過地 | 延 長 | 構造 形式 | 車線 の数 | 幅員 | 地表式の区間におけ る鉄道等との交差の 構造 | |
| 種別 | 3・4・7 | 高浜線 | 下諏訪町 字鮎沢先 | 下諏訪町 字湖水端 | 下諏訪町 字湖水端 | 約 50m | 地表式 | 2 | 18m | 幹線街路と平面交差 2 個所 | 車線数の追加 |
| | 3・4・8 | 田中線 | 下諏訪町 字湖水端 | 下諏訪町 字西赤砂 | 下諏訪町 字湖浜 | 約 2,080m | 地表式 | 4 | 16m ～ 20m | 幹線街路と平面交差 5 個所 | 車線数の追加 |
| | 内訳 | | 下諏訪町 字湖水端 | 下諏訪町 字湖浜 | 下諏訪町 字湖浜 | 約 430m | 地表式 | 2 | 16m | 幹線街路と平面交差 2 個所 | 車線数の追加 |
| | | | 下諏訪町 字湖浜 | 下諏訪町 字西赤砂 | 下諏訪町 字湖浜 | 約 1,650m | 地表式 | 4 | 20m | 幹線街路と平面交差 4 個所 | 車線数の追加 |
| | 3・5・10 | 鷹野町 春宮線 | 下諏訪町 字東赤砂 | 下諏訪町 字下馬脇 | 下諏訪町 字郷林 | 約 1,920m | 地表式 | 2 | 12m | J R 中央東線と立体 交差、幹線街路と平面 交差 5 個所 | 終 点 側 L= 約 480m 削除 (終 点変更)、車線 数の追加 |
| | 3・3・11 | 湖 岸 通 線 | 下諏訪町 字赤砂崎 | 下諏訪町 字湖水端 | 下諏訪町 字湖浜 | 約 3,480m | 地表式 | 2 | 22m | 幹線街路と平面交差 5 個所 | 車線数の追加 |

変更理由書

下諏訪都市計画道路は、18路線、延長約27.13kmが計画決定されている。当初計画決定は昭和28年であり、このうち改良済み延長は約11.8km、整備率は約43%に留まっている。(平成25年度末時点)

都市計画道路は、まちづくりの根幹をなす要素の一つであり、道路整備を行うことにより周辺地区のまちづくりが進展し、良好な街なみが形成されるなど多くの効果が期待できる。

しかしながら、人口増加、交通量増大及び経済成長を前提とした都市計画道路の決定当時と、人口減少、少子高齢化及び経済停滞状況にある現在では、都市計画道路に求められる社会的要請が大きく変化しており、効率的・効果的に事業を進めるためには、総合的なまちづくりの視点に基づいた都市施設の整備のあり方を再検討する必要がある。

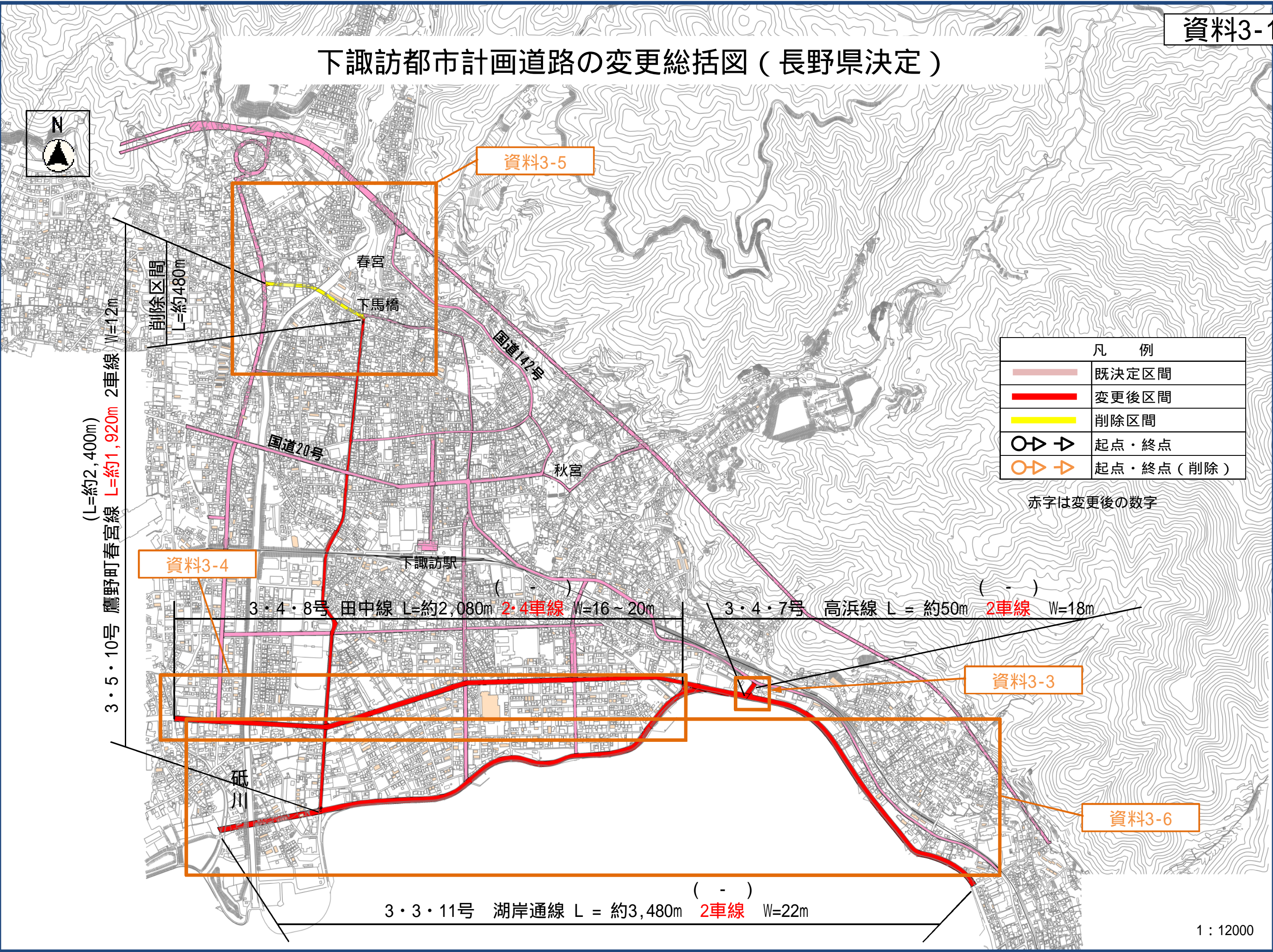
また、都市計画道路の区域内の土地所有者に対しては、計画決定後、建築行為に一定の制限を課している一方で、長期未着手となっている区間が多く存在していることから、全ての都市計画道路については、その必要性及び整備に向けた方針を明確にする必要があり、課せられた制限に対する説明責任が求められる。

さらに、事業の実施に際しては、限られた財源を効率的に運用し、住民の合意形成のもと推進していく必要がある。

このような都市計画道路を取り巻く課題を踏まえ、「都市計画道路見直し指針」(平成18年長野県)に基づき、下諏訪町総合計画等の上位計画と整合を図り、広域的な観点と地域のまちづくりの観点から個々の必要性を検証し、計画的・効率的なまちづくりを推進するため、平成24年度、25年度の2箇年で下諏訪都市計画道路全体の見直しを行い、今回、都市計画道路の変更を行うものである。

併せて都市計画法施行令の一部を改正する政令(平成10年政令第331号)及び都市計画法施行規則の一部を改正する省令(平成10年建設省第37号)に基づき、車線数を決定する。

下諏訪都市計画道路の変更総括図（長野県決定）



下諏訪都市計画道路の変更(概要)

変更及び廃止路線

| | |
|--------------------|--|
| (長野県決定) | |
| 【終点の変更及び車線数の決定】 | ○3・5・10号鷹野町春宮線 |
| 【車線数の決定】 | ○3・4・7号高浜線 ○3・4・8号田中線 ○3・3・11号湖岸通線 |
| (下諏訪町決定) | |
| 【起点又は終点の変更、車線数の決定】 | ○3・5・1号下諏訪停車場線 ○3・5・5号湖浜線 ○3・6・9号久保四王線 ○3・6・16号御田町線 |
| 【廃止】 | ○3・6・14号大門砥川線 |
| 【車線数の決定】 | ○3・5・4号四王通線 ○3・5・13号砥川西岡谷線 |

変更及び廃止の理由

下諏訪都市計画道路は、18路線、延長約27.13kmが計画決定されている。当初計画決定は昭和28年であり、このうち改良済み延長は約11.8km、整備率は約43%に留まっている。(平成25年度末時点)

人口増加、交通量増大及び経済成長を前提とした都市計画道路の決定当時と、人口減少、少子高齢化及び経済停滞状況にある現在では、都市計画道路に求められる社会的要請が大きく変化しており、効率的・効果的に事業を進めるためには、総合的なまちづくりの視点に基づいた都市施設の整備のあり方を再検討する必要がある。

このような都市計画道路を取り巻く課題を踏まえ、「都市計画道路見直し指針」(平成18年長野県)に基づき、下諏訪町総合計画等の上位計画と整合を図り、広域的な観点と地域のまちづくりの観点から個々の必要性を検証し、計画的・効率的なまちづくりを推進するため、平成24年度、25年度の2箇年で下諏訪都市計画道路全体の見直しを行い、今回、都画道路の変更を行うものである。

○見直しの手法

- ①現状把握(諸環境、交通量、上位計画、課題整理)
- ②必要性の評価(都市防災機能・収容空間機能・都市環境機能・市街化形成機能・交通機能)
- ③代替性の評価(現道活用の可能性・代替路線の有無)
- ④実現性の評価(通過地域の保全・地形的制約・経済性)

○見直しの経緯

| | |
|-----------------|--------------------|
| 平成24年4月～平成26年3月 | 都市計画道路見直し方針の検討 |
| 平成25年3月 | 町都市計画審議会(経過説明) |
| 平成25年9月～平成26年3月 | 見直し検討委員会による検討(計8回) |
| 平成25年11月 | 町広報誌による見直し方針案公表 |
| 平成25年11月 | 町都市計画審議会(経過説明) |
| 平成25年12月 | 見直し方針案住民説明会(計4回) |
| 平成26年4月 | 町都市計画審議会(経過説明) |

都市計画道路見直し方針 参考図書

